

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年1月9日

協議会名:	中土佐町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>中土佐町は高知県の中西部に位置し、平成18年1月に1町1村が合併した人口6,896人(平成30年10月31日時点)、面積が193.28平方キロメートルの町である。平成25年のコミュニティバス運行開始までは、公共交通としてJR四国の鉄道(土讃線)と、高知高陵交通及び四万十交通(当時は高南観光自動車)の路線バス、そしてタクシー事業者(町内に1社)が運行していた。しかし高齢化や人口減少が進み、バス停まで出られない高齢者の増加などにより、生活を支えるための外出手段に困窮する町民が増えてきた。平成25年1月には、このような町民の生活を支えるための移動手段として、コミュニティバスの試験運行を開始し、同年10月からは本格的な運行を行っている。</p> <p>今後は、コミュニティバスと、幹線としての鉄道や路線バスの連携による利便性向上を推進し、高齢者や免許返納者、自家用車の利用者、観光客などでも気軽に使える交通機関として情報発信及び利用促進の啓発に取り組む。また、地域ヒアリングによる意見の吸い上げを行うとともに、医療機関や商業施設、役場などの町の主要機関と連携した公共交通ネットワークを整備し、高齢化が進む本町の移動手段を確保し、安心安全な地域生活を守る地域公共交通を目指す。</p>